

コンクリート圧送業界で初 DBJのBCM格付を取得 ヤマコン

ヤマコン（山形市、佐藤隆彦社長）は、日本政策投資銀行（DBJ）のBCM（事業継続マネジメント）格付認定を取得した＝写真。コンクリート圧送業界としては初めて。格付に基づく融資をコンクリートポンプ車導入などの設備増強に充てる。

BCM格付は、DBJが実施しているサステナビリティ評価認証融資3商品の一つ。自然災害などの危機的事象に直面しても、従業員の安全を確保し、防災・事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定する。そ



松岡支店長から認定証を受け取る佐藤社長（右）

の上で評価に応じて融資条件を設定している。

コンクリート圧送業界大手のヤマコンは、東日本大震災で宮城県内の事業所・営業所が被災した。これを教訓に、各事務所の耐震化工事や事務所機能に移転するなどハード整備を実施した。インフラ事業者として、有事の事業復旧時間の設定や災害シミュレーションの実施、業界団体でのリソース融通を想定した関係構築などの事業継続力向上策が高く評価された。

27日にヤマコン本社で松岡基嗣DBJ東北支店長から認定証を手渡された佐藤社長は「災害に強い企業を目指し、毎年対策をバージョンアップしてきた。第三者の視点から取り組みを可視化してさらに向上させ、今後も社員の安全と雇用を守りながら社会に貢献していきたい」と語った。続けて「融資をもとに、今夏に国内最大規模のコンクリートポンプ車を追加する」との予定を示した。